

Canon

新規画質設定の追加やIP ストリーミング対応などにより、
業務用ビデオカメラとしての資質がさらに向上。

Professional High Definition Camcorder

XF205

FIRMWARE UPDATE 2015

主な追加機能等	対応予定
新画質モードの追加	4月中旬～
IPストリーミングに対応	6月下旬～
MP4方式でのスロー&ファストモーション撮影機能を追加	6月下旬～
Wi-Fi 設定画面の改善	6月下旬～



報道をはじめとする現場の声に応え、
業務用ビデオカメラは進化する。



報道・制作の新しいスタンダード

MXF MP4 **XF205**

新たな画質の設定が可能

低照度下でもノイズを抑えた映像記録が可能な画質設定が追加されます。解像度を優先した従来の画質と合わせ、撮影シーンやユーザーのニーズに合わせた映像表現が可能になります。

*新画質モード設定時は解像感が若干低下します。

MP4方式でのスロー&ファストモーション撮影機能を追加

MP4方式での記録時、最大40%のスローモーションと最大250%のファストモーション撮影が可能になります。

Wi-Fi 設定画面の改善

Wi-Fi設定時のユーザーインターフェースを刷新。設定操作がより感覚的で分かりやすくなり、撮影現場でのWi-Fi接続がスムーズに行えます。

IPストリーミングに対応

撮影を行いながら、インターネットを通じてリアルタイムに動画を送信できるIPストリーミングに対応します。対応IPデコーダー^{※1}やIPストリーミング対応ソフトウェア^{※2}などに対応するため、放送局などの既存の映像制作・編集フローの中で「XF205」のIPストリーミング機能を利用できるようになります。

XF205の出力		Fujitsu Network リアルタイム映像伝送装置 IP-900IID/IP-920D	IPストリーミング 対応 ソフトウェア
解像度	フレーム数		
1280×720	29.97P (9Mbps/4Mbps)	2015年4月より対応予定 ^{※1}	対応
1280×720	25P (9Mbps/4Mbps)	2015年4月より対応予定 ^{※1}	対応
640×360	29.97P (1.5Mbps)	—	対応
640×360	25P (1.5Mbps)	—	対応

^{※1} 対応デコーダー（2015年3月現在）：IPデコーダー（データ受信機器）「Fujitsu Network リアルタイム映像伝送装置 IP-900IID、IP-920D」は2015年4月以降に対応予定。詳細は富士通株式会社にお問い合わせください。

^{※2} 動作確認済みの対応ソフトウェアの詳細は、2015年6月下旬にキャノンの業務用ビデオカメラホームページ (canon.jp/prodv) で公開予定です。

●「Fujitsu Network リアルタイム映像伝送装置 IP-900IID、IP-920D」は、日本およびその他の国における富士通株式会社の商標です。